

# 湖底のごみ一掃へ

## ダイバー、疑似餌など回収

近江八幡

ダイバーによる琵琶湖の清掃活動が22日、近江八幡市長命寺町の6人が水中に潜り、湖底にあった疑似餌



疑似餌など水中のごみを拾い上げるダイバーたち(近江八幡市・長命寺港沖)

などのごみを拾い集めた。

ボランティア団体「海をつくる会」名古屋支部が実施し、近江八幡漁業協同組合や守山市の市民団体などが協力した。同支部は昨年11月から1回程度、長浜市の西浜千軒遺跡周辺をはじめ県内各地で活動している。

ダイバーたちは長命寺港から船に乗り、水深7メートル程度潜水。疑似餌や釣り糸、空き缶などをネットに入れ、引き上げていった。

同支部の藤本良美代表(50)は「これまで回収したごみにはレジ袋や空き缶が多く、疑似餌は何十年も水中に残されていることがある。県民の人たちと協力して活動場所を広げ、大好きな琵琶湖からごみをなくしたい」と話した。

(杉原慶子)